

## 特集

# 映画のまち・彦根

彦根市には、琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境、彦根城といった魅力あふれる歴史文化遺産や近世の良好な景観を残したまちなみなどが数多く存在しています。鳥居本にある本格的なオープンセットも彦根の新たなロケーションの魅力の一つとなっています。

さらに、東京、名古屋、京阪神地域からのアクセスも良いことから、これまで数多くの映画やテレビドラ

マなどの映像作品が撮影されてきました。

市内での映像作品の撮影は、**撮影隊の滞在による経済効果や作品の放映による彦根市の魅力発信など、地域活性化につながる**ことから、積極的に映画・テレビドラマなどの誘致・支援に取り組んでいます。

**問** フィルムコミッション室 ☎ 30-6153 ☎ 24-9676

## ～ようこそ 彦根市フィルムコミッション室へ～

彦根市フィルムコミッション室では、撮影を希望する制作会社に対する**市内の撮影候補地の情報提供や、ロケ誘致活動、撮影現場での立会いなど**、市内の撮影を総合的にサポートしています。

さらに、撮影支援を行った作品とタイアップしたイベント実施により、**作品をきっかけとした観光誘客や、市内外へのロケ地の魅力発信**にも取り組んでいます。

令和5年4月からは、映画プロデューサーの鍋島壽夫氏に「彦根市ロケーション誘致アンバサダー」を委嘱し、これまでの経験や知見、映画業界のネットワークを活かして、彦根市への映像作品誘致に携わっていただいています。



▲詳しくはこちら



| 年度 | 映画  | テレビ・CMなど |
|----|-----|----------|
| R3 | 3 件 | 32 件     |
| R4 | 4 件 | 40 件     |
| R5 | 6 件 | 39 件     |



フィルムコミッション室  
山田 森藤

## みんなでつくる 映画のまち

－ 撮影に協力いただける方を募集しています －

彦根市フィルムコミッション室では、ロケ地・協力事業者、エキストラ・ボランティアの募集を行っています。

### ロケ地・協力事業者募集

ロケの舞台となる施設や、撮影協力事業者を募集しています（ケータリングや弁当、宿泊場所、撮影機材、車両のレンタルなど）。

▶ロケ地募集



▶協力事業者募集



### エキストラ・ボランティア募集

映像制作会社からの希望に対応するため、エキストラ出演や撮影のボランティアスタッフを募集しています。



## 市長インタビュー

### 今だからこそ、「映画のまち」

時代劇が地上波から姿を消すなど、斜陽産業のイメージもある映画やドラマは、ネット動画配信サービスの成長により、新たな収益モデルが生まれつつあり、今後の業界成長が期待されています。

また、人材育成の面でも、情報発信の手段として紙媒体に代わり動画配信が一般化する中で、動画編集ができる人材のニーズが各企業で高まっています。

こうした、**「映画産業の再興」と「映像人材の育成」を推進しようという業界の動きを背景に、「映画のまち」としてのポテンシャルを多く持つ彦根市を「日本のハリウッド」にしたいと考えています。**

### 彦根を盛り上げるために

映画のロケ地を訪れるロケツーリズムの効果はもちろん、映画・アニメのミュージアム機能を備えた拠点づくりを進めることで、**インバウンド向けの新たな観光誘致が期待できます。**

経済効果としては、映像コンテンツの制作・流通関連企業の誘致が重要です。俳優養成校や映像編集企業などの**コンテンツ産業の集積を図り、地域経済の活性化を目指します。**

### 身近に、映画を

市民の皆さまに映画制作を身近なものとして感じていただけるようにロケ誘致を進め、今後は彦根ならではの持続可能な映画祭の開催も考えています。また、エキストラ体験は映画制作に直接関

「映画のまち」としてのブランディングを

わることができます。私自身も経験がありますが、良い思い出になると思います。**皆さまもエキストラ登録をして映画に参加してみたいかがでしょうが。**また、自宅や会社などをロケ地として提供していただく制度も始めました。皆さまのご協力をお願いします。

### 彦根のブランド価値、「映画」にあり

彦根市が持つポテンシャルを最大限に生かし、**「映画のまち」としてのブランド価値を高めることは、観光誘客や彦根市の知名度向上に留まらず、映像コンテンツ産業の集積や若者の移住・定住促進、関係人口の増加にも効果が見込める戦略です。**

専門職大学の開校や、映画祭の開催に向けた準備を進める中で、「彦根市を日本のハリウッドに！」という夢の実現に向けて着実に取り組んでいきたいと思っています。



彦根市長 わだ ひろゆき  
和田 裕行

### 映画のまちを、楽しむ

エキストラ・ボランティアに積極的に参加されている安達さんに、その活動の魅力を伺いました。

#### ーズバリ、エキストラ・ボランティアの魅力って？

2005 年頃からいくつもの映画の撮影に、エキストラとして参加しましたが、**普段はできない貴重な体験が魅力であり、醍醐味ですね。**映画「関ヶ原」ではくたくたになった着物を着て、顔には泥で汚れたようなメイクをしてもらい、戦国時代の旅人になりました。作中での出演はほんの数秒だったりしますが、助監督から「もっと速く走って！」と指示を受けたときは俳優になった気分でしたよ。運がいいと、芸能人を間近で見れることもあります。



▲映画「関ヶ原」でのエキストラ出演



あだち のぼる  
安達 昇さん

#### ー最後に一言

積極的にロケを誘致されていてチャンスがたくさんあるので、多くの市民がエキストラに参加してもらって、映画に関わってもらえたらいいなと思います。みんなで「映画のまち」を作っていけるといいですね。